

アイヌの伝統的生活空間の再生に関する事業実施計画（平成23年度）(案)

第1章 基本的事項

1 事業の目的

平成23年度の白老地域及び平取地域におけるアイヌの伝統的生活空間（イオル）の再生事業については、「アイヌの伝統的生活空間の再生に関する基本構想」、「アイヌの伝統的生活空間の再生に関する実施要領」に基づき、平成18年度から実施している事業の検証・評価を踏まえて策定された「アイヌの伝統的生活空間の再生事業の新たな中期的展開方針に関する報告書」に示した各地域のめざす姿の実現に向け、自然素材の成育管理、試験栽培、コタンの再生を通じた自然素材を活用した伝承活動等への支援や管理運営体制の拡充を図る。

2 推進体制

(1) 基本方針

アイヌ文化振興等施策推進会議が全体的な監理を行う下で、アイヌ文化振興・研究推進機構（以下、アイヌ文化振興財団という。）は、事業主体として各事業実施地域（白老地域・平取地域）の意向を踏まえて事業全体の推進管理に努めるものとする。

また、各地域においては、アイヌの人々を中心に、行政機関等の関係機関（団体）からなる協議会等により、事業に対する地元意向の取りまとめや、実施にあたっての各種調整など、必要となる協力を行うものとする。

(2) 事業実施方法

地域における事業の実施にあたっては、原則として地方公共団体等に委託し、学芸員、アイヌ文化伝承活動実践者などの指導及び協力を得ながら実施する。

(3) 推進管理

アイヌ文化振興財団は、イオルの再生事業検討会議を開催し、各地域の事業実施進捗状況及び事業実施内容の検証を行うとともに、財団内部の手続きも経ながら、各事業実施地域の事業の効率的な推進を図る。

3 留意事項

(1) 植栽、試験栽培

「イオル再生等アイヌ文化伝承方策基礎調査」（平成15年度・16年度：財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構）その他の各地域における植生調査等の結果を踏まえ地域の生態系に十分配慮する。

- ・植栽物への食害防止のため、柵、ネット等による対策を講じる。
- ・植栽地区については、自生する樹木や植物の採取又は生息する動物等の採捕が将来的に行える空間を維持できるよう、その生育状況等に十分配慮する。
- ・過年度の植栽及び試験栽培地区についても適切な肥培管理を行う。

(2) 空間の整備（コタン再生）

地元関係者、アイヌ実践活動実践者、有識者等の意向を踏まえた実現可能な整備方針を策定し、関係法令等を遵守しつつ、予算、整備期間等を考慮した段階的な実施に努めること。

（３）土地の使用

アイヌ文化振興財団が事業を実施する際には長期間、安定的な土地の使用が必要不可欠であることから、町有地等の公有地を無償で提供を受けることを基本とし、土地使用貸借契約等必要な契約を締結すること。

（４）規制緩和措置等

事業の実施地域において、国公有地や海面・内水面での自然素材の利活用等に関して必要な調整等の場を設置し、利活用の促進に向けた取組みを進める。

アイヌ文化振興財団は、水産動物の採捕や鳥獣等の捕獲、国有林野内での植栽、河川区域内の行為などに関する規制緩和や許可に関し、事業の実績やアイヌの人々の意向等を踏まえつつ、有効な措置等についての検討を進める。

4 関連事業の活用

事業の効果的な推進を図る観点から、アイヌ文化振興財団が実施する他の事業のほか、関連する事業等の活用を図る。

5 弾力的対応

緊急的な事業の実施を要する場合、事業の執行上効率的であると判断する場合等において、地域事情を考慮し弾力的に対応することができるものとする。

ただし、対応にいたるまでの根拠を明確にし、所要の手続きを経なければならないものとする。

6 事業の検証と評価

アイヌ文化振興財団は、イオルの再生事業検討会議の審議状況に沿って各年度の事業状況の検証・評価を行う。

第2章 地域計画

第1部 白老地域計画

1 白老地域イオルの目指す姿

白老地域については、ポロト湖畔周辺を植栽空間や自然素材採取空間とを結ぶ核とするほか各種事業や活動拠点となる空間としても位置付けて、これまで白老地域が培ってきたアイヌ文化に関する知識や経験とあわせて、実践的な活動を通じた伝承者の育成や、アイヌ文化の体験を通じた普及啓発活動を行う、「教育（学習）型」イオルを指向する。

このため、平成23年度においては、ポロト湖畔にコタンを再現する取組をさらに進めるとともに、管理運営体制を充実させ、しらおいイオル事務所「チキサニ」を中心とした情報の集積・実践活動の支援等を円滑に進める。

- ・自然空間においては、地域のアイヌの人々が中心となって伝承活動を実施
- ・ポロト湖畔周辺空間において、博物館と連携を図り、伝承活動や体験交流事業を実施
- ・植栽物とともに、将来に向かってアイヌ文化を護り継ぐ

2 基本的方針

アイヌの人々が中心となって、アイヌ協会白老支部、（財）アイヌ民族博物館、白老町等の関係者と連携し、白老イオル事務所を核に管理運営、保育管理、活用管理など教育（学習）型イオルとして各種事業の円滑な推進を図る。

3 事業実施計画

（1）空間形成事業

① 植栽事業

平成18年度、平成19年度に植栽した陣屋地区、ポロト自然休養林地区及びポロト地区の維持管理等を実施する。

また、ポロト自然休養林地区については、森林管理署との連携により「森づくりの体験学習」等を実施する。

各地区において、保育観察・定期巡視を実施し状況を把握するとともに、必要に応じて除草・草刈作業、また、見学者等の安全確保のため工作物の保守管理を実施する。

- ・保育観察・定期巡視業務
- ・除草・草刈作業、鹿対策、木道防腐、案内プレートの整備等

② 栽培事業

アイヌの人々が伝統的文化活動を行う際に必要となる自然素材を確保するため、森野地区、ヨコスト地区での穀物・有用薬用植物の栽培を継続し、採取及び採捕の空間を維持する。

また、穀物、苗木、有用植物、海浜植物の生育状況を記録するとともに、作業や収穫物を伝承者育成事業、体験交流事業等に利活用する。

- ・穀物（アワ、ヒエ、キビ）、苗木及び有用・薬用植物の栽培、収穫物を伝承者育成事業、体験交流事業に活用（森野地区）
- ・苗木の成長記録・種子の採取、有用・薬用植物の栽培（森野地区）
- ・海浜植物（ハマボウフウ、ハマナス）等の栽培（ヨコスト地区）

- ・各地区の保育観察、定期巡視

③ 空間整備（コタンの再生）

ポロト湖畔地区において、アイヌの人々の歴史や自然観に根ざした工芸技術等の伝承活動の場や自然と共生していたアイヌの人々の知恵を学習するため、イオル空間としてコタンの再生等を行う。

- ・チセ周辺の自然環境整備（樹木の移植）
- ・コタンの機能の充実（丸木舟・イタオマチップの製作、チセの補修と維持管理）

（２）空間活用事業

① 体験交流事業

地元関係機関によるイオル再生事業白老地域検討委員会が計画主体となって、地域内の各種事業と連携を図りながら、体験交流指導者育成事業の受講者をリーダーとしたイオル空間を活用した各種体験交流事業を実施する。

- ・海のイオル体験事業
- ・川のイオル体験交流事業
- ・山のイオル宿泊体験交流事業
- ・アイヌ文化の体験・体感交流事業
- ・チセでの体験交流事業

（３）空間の管理運営

① しらおいイオル事務所「チキサニ」運営事業

教育（学習）型イオル事業運営の拠点として、アイヌの人々が主体的に空間の管理運営を行うとともに、アイヌの人々や広く一般に対して、アイヌ民族や文化に関する学習機会や情報を提供する場として活用する。

また、チセ等の適正な維持管理を実施しながら、アイヌの人々や広く一般に対して、アイヌ民族や文化に関する学習機会や情報を提供する場として活用する。

② 管理運営事業

白老地域のイオル再生事業全体について、総合的に管理運営するため、地域の実施計画のとりまとめや関係機関との連絡調整を図る。

- ・事業実施における全体的な進捗状況の管理及び事業実施機関への適切な指導・助言等
- ・事業運営に当たっての地域の関係機関・団体との連絡調整等

第2部 平取地域計画

1 平取地域イオルの目指す姿

平取地域については、沙流川流域の豊かな自然の中で、多くのアイヌの人々が生活に密着した伝統文化活動を行っている。

こうした活動を支援するため、広大なイオル空間を設定し、自然素材の採取の場となるイオルの森や水辺空間等を活用して植栽、試験栽培を行うとともに、生活文化の中心であったコタンの再現などを行い、即時利用が可能な自然素材を活用した活動の拡がりや進化を目指す「活動型イオル」を指向する。

このため、平成23年度においては、イオルの森等から自然素材を採取する準備を進めるとともに、苗畑や水辺空間において試験栽培を行い、コタンやイオル空間等での伝承活動を行うための基盤づくりと体験交流活動を実施するとともに、アイヌ文化情報センター「イオル推進事務所」による情報の発信等を行う。

- ・ 自然素材の持続的な採取等を可能とするイオルの森の形成及びコタンの再現
- ・ 苗畑での植栽管理及び水辺空間での試験栽培の実施
- ・ 生活文化の拠点となるコタンでの伝承活動の実践
- ・ アイヌ文化の体験交流活動の実施
- ・ アイヌ文化情報センターを利用した情報発信の実施

2 基本の方針

平取町、関係機関やアイヌ文化伝承活動実践団体の代表者等を構成員とする平取アイヌ文化振興推進協議会は、平取地域のイオル事業の円滑な推進に資するものとする。

この協議会のもと、検討部会等での検討・協議を経て、アイヌの人々が主体的に意見を反映するイオル空間の整備とコタンの形成に必要な平取町内の町有地等の円滑な利用等により、整備した空間の維持管理、運営を行う。

3 事業実施計画

(1) 空間形成事業

① 空間整備（コタンの再現）事業

協議会のもと、アイヌ協会平取支部等が主体となって、イオルの森等から必要な自然素材を採取・加工・利用し、チセを復元する。工程の折々には伝統儀礼（カムイノミなど）を実践する。

また、二風谷地区においてコタンの再現方針に基づく基盤整備を実施するとともに、復元したポロチセにおいて伝承活動を展開する。

また、アイヌ文化の伝統工芸指導や体験交流指導を目指す希望者に対して、アイヌ文化に関する知識や自然素材の活用等について講義と実習・実践・技術指導を行う。

- ・ コタンの再現と運営管理
- ・ チセ等の復元
- ・ コタン周辺の伝承の場としての整備と伝承活動の実践

② 試験栽培事業

イオルの森の自然素材（草本・木本）の現状を把握するため、現況調査を引き続き実施する。また、イオルの森と水辺空間に係る整備方針を基に計画的に事業を実施し、そのために必要な整備と管理運営を行う。

イオルの森（二風谷地区）

- ・イオル型複層林施業（選木調査、択伐、オヒョウ等の移植）の実施
- ・自然素材（草本・木本）の試験栽培
- ・苗畑に移植した稚樹の育成管理、播種した苗の育苗管理及び稚樹の移植、養苗
- ・アマム（穀物）の栽培

水辺空間（本町地区河川敷地）

- ・モセウシ（カヤ場）、ポイント（小さい沼）でのカヤやガマ等の試験栽培
- ・アマムトィ（穀物畑）での緑肥、アマム（穀物）の試験栽培

（２）空間活用事業

① 体験交流事業

アイヌ文化伝承活動実践団体及び伝承者が主体となって、コタン・イオルの森・水辺空間及び伝承基盤等を活用した各種体験交流事業を企画し実施する。

- ・伝説地やアイヌ語地名などの伝承基盤を活用した体験交流事業
- ・コタン・イオルの森・水辺空間を活用した体験交流事業
- ・沙流川流域支川でのサケ伝統捕獲漁法体験及び保存食加工体験

（３）空間の管理運営

① 管理運営事業

平取地域のイオル事業全体について、総合的に運営管理するため、地域の実施計画のとりまとめや関係機関との連携調整を図る。

② イオル推進事務所の運営

「アイヌ文化情報センター」において、アイヌの人々や広く一般の方々に対し、イオル事業の紹介、情報発信等を行う。

第3章 連携促進事業その他の取り組み

1 事業の目的

各地域共通の課題の解決や取り組みの更なる充実を図るためには、地域間の連携が重要であることから、地域間のネットワークの形成やイオル事業を担う人材（伝承者）の育成などを図る。

2 基本の方針

アイヌ文化振興財団が、地域と連携し、各地域共通の課題解決に向けた取組を行うとともに、地域への情報発信、新たな地域での調査、アイヌ文化の伝承者の育成などの推進を図る。

3 事業実施計画

（1）ネットワークの形成等

地域間の連携促進（ネットワーク形成）を図るため、事業実施地域間の情報交換、事業実施地域以外への情報提供を実施するとともに、新たな地域の現状、課題や地域の特性等について調査を行う。

- ・ネットワーク会議開催（2回）
- ・事業実施地域の情報交換、実施地域以外への情報提供等
- ・自然素材の融通等
- ・地域の伝統文化、伝承者、活動団体等に関する情報の提供

（2）伝承者育成事業

熟練された伝承者の指導のもと、アイヌ文化に関する総合的・実践的知識や教養を身に付けたアイヌ文化の伝承者の育成を図る。

- ・長期的なカリキュラムに基づく講義、実習、研修（3年間）

（3）植生状況等調査

イオル候補地の植生状況等の調査を実施する。